

政策目標	2	安心して暮らせるぬくもりの街						
重点課題	2	地域で支え合う、健やかでぬくもりあふれる生活への支援						
施策の基本方針								
すべての人が安心して健やかに地域生活を送るため、高齢者と各世代が支え合うぬくもりあふれるまちづくりを進めるとともに、特別養護老人ホームの定員拡大や救急医療体制の整備など、福祉・介護・医療サービスの充実を図ります。また、障がいのある人がいきいきと地域の中で暮らせるよう、それぞれのライフステージに応じて一貫した支援を受けられる体制を整備するとともに、就労促進策の拡充に向けて民間企業と協力して取り組みを進めます。								
計画事業費の執行状況								
施策番号	事業名	計画事業費	事業費(単位:千円)				合計	進捗率(%)
			23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(予算)		
施策1	福祉・介護・医療の連携による健やかな地域生活の支援							
	地域包括支援センターの増設	438,000	0	0	193,200	193,200	386,400	88.2
	認知症サポーター等養成事業	3,000	1,197	1,067	844	1,240	4,348	144.9
	高齢者・障がい者生活あんしん支援センター充実事業	16,000	0	0	3,218	7,928	11,146	69.7
	孤立死防止・地域連携ネットワーク事業	11,000	2,650	2,856	1,596	0	7,102	64.6
	はつらつシニアサポート事業(高齢者地域貢献支援事業)	36,000	3,786	3,427	8,391	9,416	25,020	69.5
	(仮称)介護支援ボランティア事業の創設	30,000	0	0	8,847	12,383	21,230	70.8
	特別養護老人ホームの新築費補助事業	2,346,000	635,000	528,000	543,000	555,000	2,261,000	96.4
	エコリフォーム促進事業【再掲】	105,000	27,993	88,399	115,727	120,000	352,119	335.4
	健康と安心を支える医療体制の整備	6,000	3,242	1,292	602	1,300	6,436	107.3
	(仮称)救急安心センターさっぽろの設置	263,000	3,557	24,455	123,381	111,800	263,193	100.1
	精神科救急医療体制の整備	177,000	0	0	10,584	10,622	21,206	12.0
	ほっとけない・こころ推進事業	50,000	20,293	20,983	19,951	20,000	81,227	162.5
	特定健診を補う付加健診事業	150,000	57,855	57,487	61,140	82,929	259,411	172.9
施策2	障がい者への一貫した支援体制の構築と自立支援							
	障がい者相談支援事業の拡充	115,000	6,578	19,769	38,356	52,554	117,257	102.0
	障がい児・者支援体制強化事業(診療院改修)	1,458,000	20,478	90,245	1,644,941	35,000	1,790,664	122.8
	重症心身障がい者生活介護等受入促進事業	115,000	0	22,029	28,824	28,000	78,853	68.6
	障がいのある子どもへの移動支援の充実	386,000	0	841,797	892,897	70,690	1,805,384	467.7
	障がい者グループホーム等の拡充	124,000	5,896	25,326	5,258	56,000	92,480	74.6
	歩道のバリアフリー化	6,450,000	2,066,841	2,432,598	1,871,179	2,217,510	8,588,128	133.1
	地域ぬくもりサポート事業	15,000	0	2,500	3,932	6,465	12,897	86.0
	消費者被害防止ネットワーク事業【再掲】	20,000	5,159	5,234	4,884	6,080	21,357	106.8
	障がい者協働事業の拡充	166,000	4,396	16,565	34,666	70,785	126,412	76.2
	元気ジョブアウトソーシングセンター運営事業	101,000	24,297	24,780	24,098	24,800	97,975	97.0
	障がい者元気スキルアップ事業	31,000	2,849	8,253	7,399	7,100	25,601	82.6
	障がい者就業・生活相談支援事業の拡充	109,000	6,595	25,359	34,873	39,421	106,248	97.5
	知的障がい者等を対象としたホームヘルパー養成事業	18,000	4,410	3,938	3,780	4,131	16,259	90.3
重点課題合計		12,739,000	2,903,072	4,246,359	5,685,568	3,744,354	16,579,353	130.1

注:事業費下線部は、前年繰り越し分を含めた額

政 策 目 標	2	安心して暮らせるぬくもりの街					
重 点 課 題	2	地域で支え合う、健やかでぬくもりあふれる生活への支援					
達 成 目 標 の 状 況							
事業名		22年度末	23年度末	24年度末	25年度末	26年度末	26年度末
達成目標		(現状値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(目標値)
施策1 福祉・介護・医療の連携による健やかな地域生活の支援							
地域包括支援センターの増設							
1 地域包括支援センター設置数		21カ所	21カ所	21カ所	27カ所		27カ所 (25年度)
認知症サポーター等養成事業							
2 認知症サポーター養成数(累計)		17,227人	26,254人	33,354人	40,765人		37,000人
高齢者・障がい者生活あんしん支援センター充実事業							
3 高齢者・障がい者生活あんしん支援センターによる 成年後見事業市長申立業務の実施		—	—	—	実施		実施 (25年度)
孤立死防止・地域連携ネットワーク事業							
4 市民啓発に参加した人数		1,372人	2,256人	1,976人	2,396人		1,400人
はつらつシニアサポート事業(高齢者地域貢献支援事業)							
5 シニアサロン設置数		11カ所	13カ所	14カ所	19カ所		19カ所
6 シニアチャレンジ事業実施団体数		17団体	19団体	21団体	23団体		33団体
(仮称)介護支援ボランティア事業の創設							
7 ボランティア登録人数		—	—	—	801人		2,000人
特別養護老人ホームの新築費補助事業							
8 特別養護老人ホームの入所定員数		4,356人	4,654人	4,894人	5,134人		5,374人
エコリフォーム促進事業【再掲】							
9 一般住宅のエコ・バリアフリー改修の補助利用件数 (累計)		43戸	185戸	673戸	1,399戸		150戸
10 賃貸住宅のエコ・バリアフリー改修の補助利用件数 (累計)		—	4戸	8戸	13戸		30戸
健康と安心を支える医療体制の整備							
11 札幌市地域医療体制の整備計画の策定		検討	策定	—	—		策定 (24年度)
(仮称)救急安心センターさっぽろの設置							
12 電話相談窓口の開設		—	—	—	開設		開設 (25年度)
精神科救急医療体制の整備							
13 1日あたりの空床確保数		1床	1床	1床	2床		2床
ほっとけない・こころ推進事業							
14 自殺予防に関する研修会の参加者数		3,500人	4,919人	4,569人	4,903人		4,000人
特定健診を補う付加健診事業							
15 付加健診受診者の割合		—	41.6%	84.6%	85.2%		30%

政 策 目 標	2	安心して暮らせるぬくもりの街					
重 点 課 題	2	地域で支え合う、健やかでぬくもりあふれる生活への支援					
達 成 目 標 の 状 況							
事業名		22年度末	23年度末	24年度末	25年度末	26年度末	26年度末
達成目標		(現状値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(目標値)
施策2 障がい者への一貫した支援体制の構築と自立支援							
障がい者相談支援事業の拡充							
16 障がい者相談支援事業所数		16カ所	17カ所	18カ所	19カ所		20カ所
障がい児・者支援体制強化事業(静療院改修)							
17 障がい児・者医療・福祉複合施設の整備		—	設計着手	整備着手	一部整備完了		整備(25年度)
重症心身障がい者生活介護等受入促進事業							
18 看護師配置に対する補助を活用する生活介護事業所数(累計)		—	—	11事業所	16事業所		15事業所
障がいのある子どもへの移動支援の充実							
19 就学児の1月あたりの移動支援の平均利用時間		5.44時間	5.98時間	5.59時間	5.82時間		8.87時間
障がい者グループホーム等の拡充							
20 グループホーム等の箇所数		293カ所	335カ所	356カ所	381カ所		345カ所
歩道のバリアフリー化							
21 重点整備地区における生活関連経路の歩道バリアフリー化率		24%	33%	43%	51%		60%
地域ぬくもりサポート事業							
22 ボランティアを利用する障がいのある人		—	—	24人	50人		620人
23 ボランティア登録数		—	—	45人	111人		2,000人
消費者被害防止ネットワーク事業【再掲】							
24 障がいのある人向けの消費者被害防止ネットワーク事業の実施区数		—	3区	5区	10区		10区(25年度)
障がい者協働事業の拡充							
25 障がい者協働事業実施事業所数		10カ所	11カ所	12カ所	15カ所		20カ所
元気ジョブアウトソーシングセンター運営事業							
26 受注件数(累計)		182件	418件	1,030件	1,864件		750件
27 受注金額(累計)		27,108千円	59,853千円	91,299千円	180,697千円		108,000千円
障がい者元気スキルアップ事業							
28 研修を終えた障がいのある人の就職者数(累計)		—	4人	18人	30人		20人
障がい者就業・生活相談支援事業の拡充							
29 就業・生活相談支援事業所数		2カ所	3カ所	4カ所	4カ所		4カ所(24年度)
30 ジョブサポーター数		—	1人	2人	3人		4人(24年度)
知的障がい者等を対象としたホームヘルパー養成事業							
31 ホームヘルパー2級資格取得者数(累計)		19人	31人	57人	66人		100人

政策目標	2	安心して暮らせるぬくもりの街					
重点課題	2	地域で支え合う、健やかでぬくもりあふれる生活への支援					
さっぽろ“えがお”指標の動向							
さっぽろ“えがお”指標 実績値の推移に係る検証		(現状値)	23年度末 (実績値)	24年度末 (実績値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	(目標値)
市民意識・行動指標							
23	週2回以上外出する高齢者の割合	82.8% (22年度)	81.9% (23年度)	85.2% (24年度)	83.2% (25年度)		85% (26年度)
		実績値は前年度より若干減少しているが、各種施策の実施により高齢者の居場所づくりなどを進めて行くことで、目標達成を目指す。					
24	障がいのある人にとって地域で暮らしやすいまちであると思う障がいのある人の割合	29.8% (参考値) (22年度)	47.9% (23年度)	49.6% (24年度)	53.4% (25年度)		50% (26年度)
		本市が実施している施策について、障がいのある人への周知やPRの結果、目標を達成した。					
25	障がいのある人にとって地域で暮らしやすいまちであると思う人の割合	29.7% (22年度)	23.3% (23年度)	28.1% (24年度)	22.7% (25年度)		50% (26年度)
		全回答者が思う暮らしやすさの割合は伸び悩んでいる。これは、本市が実施している施策について、周知やPRが不足している面があるものと考えられる。					
社会成果指標							
26	要支援・要介護者数の割合	18.5% (22年度)	18.8% (23年度)	19.3% (24年度)	19.8% (25年度)		19.1% (26年度)
		要介護等認定率の高い後期高齢者人口の増加などの要因により、要支援・要介護認定者数の割合(第1号被保険者に占める割合)が増加している。					
27	仮称)救急安心センターさっぽろの相談受付件数	— (22年度)	—	—	80人/日 (25年度)		130人/日 (26年度)
		医療機関案内の利用などが想定より少なく目標値に達していない。今後、リーフレットの配布や地下鉄駅掲示板での周知などPRをおこない、受付件数増加を図っていく。					
28	障がい者の入所施設における入所者の地域生活への移行者数(H23～26累計)	274人 (19～22年度累計)	98人 (23年度)	185人 (24年度)	221人 (25年度)		350人 (23～26年度累計)
		重度障がいの入所者が増えてきている状況などから、移行者数が減少傾向にある。地域の受入態勢の整備や相談支援の充実により、地域生活への移行を促進する。					
29	福祉施設(就労支援施設など)から一般就労への移行者数	83人 (21年度)	231人 (23年度)	297人 (24年度)	405人 (25年度)		100人 (26年度)
		22年7月の障害者雇用納付金制度改正や、25年4月の障害者の法定雇用率引き上げにより、対象事業主の拡大等が図られた。					

注:番号は、さっぽろ“えがお”指標の通し番号

政策目標	2	安心して暮らせるぬくもりの街
重点課題	2	地域で支え合う、健やかでぬくもりあふれる生活への支援
事業実績、評価、今後の取り組み等		
施策1 福祉・介護・医療の連携による健やかな地域生活の支援		
25年度の主な取組内容(実績)		
地域包括支援センターを6カ所増設。	高齢者団体が自主的に行うサロン活動等に対し、支援を実施(9件)。	
65歳以上の市民によるボランティア活動に対しポイントを付与する介護支援ボランティア事業を開始。	広域型特別養護老人ホーム(定員80人)3カ所の整備および福祉避難場所用スペースの整備に対し、補助を実施。	
26年度の主な取組内容(予定)		
認知症サポーター養成講座及びキャラバン・メイトを引き続き育成。	救急医療の電話相談の運営。	
自殺予防対策として、人材(ゲートキーパー)養成研修事業の実施。	広域型特別養護老人ホーム(定員80人)3カ所の整備および福祉避難場所用スペースの整備に対し、補助を実施。	
夜間・休日等の精神科救急医療における輪番2体制の継続実施。		
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の状況からみた事業の評価		
【はつらつシニアサポート事業】高齢者団体自らが行うサロン活動や地域貢献活動の経費の一部を補助することを通して、高齢者の居場所づくりを進めるとともに、高齢者の外出支援を通じた孤立防止、さらには地域住民同士の相互扶助の促進による地域福祉力の向上などに貢献している。		
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の達成に向けた今後の事業の取り組み		
【認知症サポーター等養成事業】サポーター養成講座の継続的な事業周知を行い、キャラバンメイトやサポーターの育成に取り組み、地域全体で認知症とその家族を支える体制づくりを進める。 【特定健診を補う付加健診事業】引き続き、生活習慣病や付加健診を含む特定健診の意義などについて広く周知・啓発し、受診率向上と健康意識の醸成を図る。		
施策2 障がい者への一貫した支援体制の構築と自立支援		
25年度の主な取組内容(実績)		
障がい者相談支援事業所の後方支援等を行う基幹相談支援センターを新設。	静療院(成人部門)跡施設の改修工事。	
障がい者グループホーム等の設置に継続して補助。	南2・3条中通線(狸小路商店街)などの歩道のバリアフリー整備を実施。	
障がい児・者に対する地域住民による有償ボランティア活動の実施地域を、中央区全域に拡大。	障がい者を5名以上雇用する事業所15カ所(新規3カ所・継続12カ所)に対し補助を実施。	
障がいのある人の雇用促進のため、ジョブサポーターを1名配置。		
26年度の主な取組内容(予定)		
障がいのある子どもに対する通学支援の拡充。	障がい児・者に対する地域住民による有償ボランティア活動の実施対象地域を、(中央区に加え)南区にも拡大して実施。	
障がいのある人の雇用促進のため、ジョブサポーターを1名追加配置。	障がい者グループホーム等の設置に継続して補助。	
障がい者を5名以上雇用する事業所20カ所に対し補助を実施(新規5カ所・継続15カ所)。	静療院(成人部門)跡地の外構工事(園庭、グラウンド等)を実施。	
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の状況からみた事業の評価		
【障がい者グループホーム等の拡充】グループホーム等設置費補助に関しては、目標数を達成しており、障がいのある人が地域で暮らしやすい環境を整備できた。 【障がい者就業・相談支援事業の拡充】各々の事業の複合的・有機的な強化により、雇用の場の職場定着に係る就業・生活相談支援体制の充実を図ることができ、障がいのある方の福祉施設から一般就労への移行者数も大幅に増えた。		
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の達成に向けた今後の事業の取り組み		
【歩道のバリアフリー化】「障がいのある人にとって地域で暮らしやすいまちであると思う障がいのある人の割合」ほか3項目のさらなる増加に向け、バリアフリー化された歩道ネットワークの早期構築を目指す。 【地域ぬくもりサポート事業】障がいのある人が安心した地域生活を送れるよう、より一層の事業PRを行い、支援の拡大を図る。本事業による様々な支援を通じ、障がいのある人に対する理解促進を図り、障がいのある人を地域全体で支え合うまちづくりに努める。		

政策目標	2	安心して暮らせるぬくもりの街
重点課題	2	地域で支え合う、健やかでぬくもりあふれる生活への支援
協働の状況		
【はつらつシニアサポート事業】高齢者団体による生きがい活動、地域貢献活動等を支援することにより、高齢者自らによる生きがいづくり、まちづくりの促進を図っている。		
【孤立死防止・地域連携ネットワーク事業】さっぽろ孤立死ゼロ推進会議には民生委員、児童委員、老人クラブ、マンション管理組合等がメンバーとして参加している。また、孤立死ゼロ推進センターでは、孤立化防止に関心を持つ方に対し出前講座等を実施し、住民の自主的な取組みを支援している。		
【元気ジョブアウトソーシングセンター運営事業】当該事業のホームページ等を通じて、障がい者施設等で提供可能な各種サービス等の情報提供を行い、理解促進、受発注の拡大に努めている。		